

身体のよみがえりを信ず

2020年4月12日 復活節

序：先週は受難週

今日は復活節（毎年日は違う）

イエス・キリストは十字架で死なれ、葬られ、
身体をもって、よみがえられた
コリント I 15・3～8

「イエス・キリストの復活を信じる」告白は、「……三日目に死人のうちよりよみがえり」においてすでになされた

「身体のよみがえりを信ず」は、私の（聖徒たちの）身体のよみがえりを信じること

I. 私（信者）の身体がよみがえる根拠

(1) イエス・キリストのみことば（父のみこころ）

ヨハネ 6・39～40

わたしを遣わされた方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者を、わたしが一人も失うことなく、終わりの日によみがえらせることです。わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持ち、わたしがその人を終わりの日によみがえらせることなのです。

(2) イエス・キリストが身体をもって復活された事実

使徒 2・24、32、13・30、33、34

神は、この方をよみがえらせました。

(3) キリストの復活は、キリスト信者の復活の原型かつ代表

コリント I 15・20

しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。

コリント I 6・14

神は主をよみがえらせましたが、その御力によって私たちも、よみがえらせてくださいます。

II. 私たちの身体はいつ復活するのか

イエス・キリストの空中再臨（＝教会が携挙される）の時

(1) テサロニケ I 4・13～18

主にあって眠った者が先。それから主の来臨時に生き残っている信者

……すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。

(2) コリント I 15・51～52

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

(3)ヨハネ 11・25～26

イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。
わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたはこのことを信じますか。」

Ⅲ. 私たちの復活の身体はどのようなものであるか

イエス・キリストの身体も復活前と後では違った
時間・空間に制限されない

(1)コリントⅠ 15・42～53

朽ちない身体
栄光ある 〃
力ある 〃
御霊のからだ
天に属する者（神の国を相続する者）の身体
死なない身体

(2)コリントⅡ 5・1～10

天にある神のくださる建物
人の手によらない永遠の住まい
天から与えられる住まい

Ⅳ. 不信者のからだもよみがえる

(1)ヨハネ 5・27～29

また父は、さばきを行う権威を子に与えてくださいました。子は人の子だからです。このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞く時が来るのです。そのとき、善を行った者はよみがえっていのちを受けるために、悪を行った者はよみがえってさばきを受けるために出て来ます。

(2)マタイ 25・31～46（41、46）

それから、王は左にいる者たちにも言います。「のろわれた者ども。わたしから離れ、悪魔とその使いのために用意された永遠の火に入れ。……
こうして、この者たちは永遠の刑罰に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入るのです。

(3)マルコ 9・48

ゲヘナでは、彼らを食らううじ虫が尽きることがなく、火も消えることはありません。

(4)黙示録 21・8

しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、淫らなことを行う者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者たちが受ける分は、火と硫黄の燃える池の中にある。これが第二の死である。

信者ばかりか、不信者の身体もよみがえらせられる

それは、永遠に止むことのない苦しみ、刑罰を受け続けるためのものである
不信者の身体の復活は、大患難期の最期に、イエス・キリストが地上に再臨される時である。